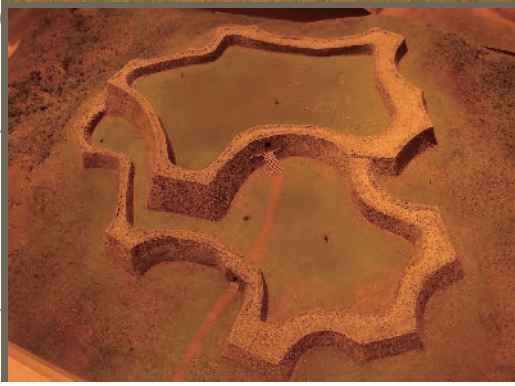
第一尚氏王統期のグスク

―縄張りの完成形を見る―



（上）首里城 歓会門・久慶門　（中）中城グスク　（下）座喜味グスクジオラマ模型

2025.

7.12 土

入場無料

14:00～16:00
（開場 13:30）

琉球列島各地域にはグスクと呼ばれる遺跡がありますが、その起源は 13 世紀頃まで遡ることができます。14 世紀後半から 15 世紀前半にかけてグスクは城郭として深化し、尚巴志が王権を確立した時期には城郭として完成した形へと発展していきます。

本講座では沖縄本島及びその周辺離島に分布しているグスクの縄張りを中心にグスクの完成形について、深掘りしていきます。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

講 師　山本 正昭（考古担当学芸員）

会 場　沖縄県立博物館・美術館
３階 講堂

受 付　当日先着（定員 200 名）

共 催　沖縄県立博物館友の会

お問合せ　098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

次回予告

2025. 8.9 土　14:00 ～ 16:00（13:30 開場）
「『あるくみるきく』そして対話する
～民俗学者・宮本常一流フィールドワークで地域の未来をつくる！？～」
講 師　森下 愛子（民俗担当学芸員）

※「琉球王国尚王統成立 600 年記念事業」は沖縄県地域振興協会の令和 7 年度地域活性化事業からの助成を受けています。